

桜の聖母短期大学の三つの方針（令和6年4月1日施行）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の設置母体であるコングレガシオン・ド・ノートルダム修道会が掲げるミッション・ステートメント(教育理念)と、それに基づく建学の精神に掲げる教育理念・理想を実現するために、以下のことを卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）とします。

教養科目と専門科目を合計して62単位以上を修得し、以下の【学習成果】を獲得したと認められる者について、卒業を認定するとともに学位を授与します。

【学習成果】

- ①建学の精神を理解し、愛と奉仕に生きる良き社会人として社会に貢献するための教養を修得している。
- ②豊かな心と深い教養に根ざす思考力・判断力・表現力を身につけている。
- ③愛と奉仕に生きることを実践的・体験的に学び、多様な人々と協働して主体的に取り組む態度をもっている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる【学習成果】の獲得のために、教養科目、専門科目及びその他の必要とする科目を体系的に編成しています。講義、演習、実験、実習、実技を適切に組み合わせた授業を開講します。

教育課程編成を示すために、科目間の関連や科目内容の系統性を、カリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、本学での学修に対する目的や意欲を持ち、高等学校までの学習及び経験を通じての基礎的な知識・技能・態度を身につけ、さまざまな課題について主体的に考え実践し、その知識等や考え実践した事を表現し、多様な人々と協働しつつ学修する態度の基礎を身につけている人を受け入れます。

このような入学者を適正に選抜するため、以下の点に留意し、多様な選抜を実施します。

- イ 高等学校卒業程度の教育課程を経て、基礎的な知識を修得していること（知識・技能）
- ロ 高等学校までの履修内容のうち日本語能力の基礎的な内容を身につけていること（知識・技能）
- ハ さまざまな課題について、知識や情報をもとに、筋道を立てて考えたことを表現できること（思考力・判断力・表現力）
- ニ 学びたい学科・専攻の知識や経験を多様な人々と協働して社会で活かしたいという目的意識と意欲があること
（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）
- ホ 入学前教育として求められる基礎的な知識を身につけるための課題に最後まで取り組む意志があること
（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）